

2月定例教育委員会 会議録

日	時	平成31年2月13日(水) 午前9時30分～午前10時00分									
場	所	甲府市役所 9階 会議室9-2									
出席委員	小林教育長・市川職務代理者・原委員・末木委員・岡田委員										
出席事務局職員	嶋田教育部長・饗場教育総室長・山本生涯学習室長(生涯学習課長兼任)・星野総務課長・松田学校教育課長・宮川学事課長・照沼教育施設課長・本田甲府商業高等学校事務長・碓井甲府商科専門学校事務長・小林スポーツ課長、本田図書館長・芦川総務課課長補佐・宮川総務課課長補佐・鷹野総務課課長補佐・保坂総務課主任										
傍聴人	1名										
署名委員											
委員会書記											
・教育委員あいさつ											
・会議録署名委員の指名 市川委員											
・1月定例会会議録の承認 原案のとおり承認											
<table style="margin: auto; border: none;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">小林</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">末木</td> <td></td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">市川</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">岡田</td> <td></td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">原</td> </tr> </table>			小林			末木		市川	岡田		原
小林											
末木		市川									
岡田		原									
<p>1 開会</p> <p>小林教育長</p> <p>これより2月定例教育委員会を開会します。</p> <p>(1) 教育委員あいさつ</p> <p>市川委員</p> <p>みなさんおはようございます。平成30年度も残りわずかとなりました。昨日の甲府市文化協会の会合等で市長さんが「国、甲府市では、4月以降に大きな節目が訪れますが、まだ先のことのように思っていました、いよいよ現実味を帯びて近づいてきた。」とおっしゃっていたように、まさにそんな気がしております。</p> <p>こうした中で、このところ子どもへの虐待というのが連日ニュースで報道されており、「学校、教育委員会、児童相談所、そういった関係機関のあり方を問う」というような、かなり厳しい報道がされているように思います。そういう中で我々としては何をなすべきか、またどうすべきか、じっくり考えてこのような事態に至らないために準備する必要があると感じております。</p> <p>このような言い方をすると少し誤解を招くかもしれませんが、あえて言わせていただくと学校</p>											

や教育委員会の担当者の言っていることは、私個人としてはかなり理解できる部分もあります。様々な状況でどのように対応すべきなのかというスキルをどこかで身につける必要があると思います。

その他にも高校の先生が、生徒に挑発されて体罰に至った場面がインターネットで流れたことがあります。生徒の挑発的な言葉というのが非常に印象的で、まさに煽っているなというように感じたわけであります。

私達は自分の意思を伝えたり、相手の考えていることを汲み取ったりする時には、どうしても言葉に頼らざるを得ない。しかし、同じ言葉でも言い方やシチュエーションによっては、ハラスメントに繋がるというような非常に微妙なことがあると思っています。そのことからすれば、どのような言葉でどのように言うか、それは本当にその人の生き方などに係ってくるのではないかと考えています。

私もかつて卒業式で言葉の大切さということについて、子どもたちに話をしたことがあります。その時引用した詞があります。「一秒の言葉」という詞なのですが、作者は小泉吉宏さんというこの方で、1985年にテレビのCMで一度だけ流されたもので、その後は全国の小中学校で言葉の使い方、人との接し方といったことを題材とする道徳の授業の教材にもなっているのですが、それを紹介させていただきたいと思います。

一秒の言葉。「はじめまして」この一秒ほどの短い言葉に、一生のときめきを感じる時がある。「ありがとう」この一秒ほどの短い言葉に、人のやさしさを知ることがある。「がんばって」この一秒ほどの短い言葉で、勇気がよみがえってくる時がある。「おめでとう」この一秒ほどの短い言葉で、幸せにあふれる時がある。「ごめんなさい」この一秒ほどの短い言葉に、人の弱さを見ることがある。「さようなら」この一秒ほどの短い言葉が、一生の別れになる時がある。一秒に喜び、一秒に泣く。一生懸命、一秒。

私は、日々の忙しさやその時々感情とか心持によってそう深く考えることなく、色々な言葉を使って色々なことを言ってしまっていることが多く、その場の雰囲気についてしまった一言、「あぁしまった。」と思うことはほとんど毎日のようにあり、言葉というのは非常に難しいと感じます。そういう中で、我々は子どもたちや保護者、地域の人、様々な立場、様々な考え方を持っている人を相手にしていくということがありますので、発する一つ一つの言葉を大切に、少し敏感でいたいというように思うところであります。ありがとうございました。

(2) 会議録署名委員の指名

小林教育長

会議録の署名委員は、市川職務代理者を指名します。

(3) 前回会議録の承認

小林教育長

前回の議事録について、事前に配布されておりますが、何かご意見ありますでしょうか。よろしいでしょうか。

では承認いただいたということでありがとうございます。

【原案どおり決定】

(教育委員会承認)

2 議事

(1) 議題

小林教育長

議題 第2号 甲府市学校職員初任給、昇格等の基準に関する規則の一部改正について 資料に基づきまして、松田学校教育課長より説明をお願いします。

(松田学校教育課長より資料に沿って説明)

小林教育長

説明が終わりました。これより質疑に入ります。ご意見、ご質問等ありませんか。

末木委員

今回の規則改正はどのような目的があつてされたのでしょうか。

松田学校教育課長

県教育委員会の方にも確認しましたところ、1級には色々な号級の方がいるわけですが、1級から2級への昇格時に、これまでの表ですと不均衡が生じてしまうと。つまり1級から2級へ昇格したときに極端に給料の額が増える方と増えない方のアンバランスが出てしまうということで、その部分の見直しが行われたということでありました。

小林教育長

よろしいでしょうか。

末木委員

はい

小林教育長

他にはないでしょうか。

ご意見ございませんので、原案のとおり決定ということでよろしいでしょうか。

それでは、原案のとおり決定いたしました。

【原案どおり決定】

(教育委員会承認)

小林教育長

議題 第3号 甲府市武田氏館跡歴史館条例の施行期日を定める規則の制定について 資料に基づきまして、山本生涯学習室長より説明をお願いします。

(山本生涯学習室長より資料に沿って説明)

小林教育長

説明が終わりました。これより質疑に入ります。ご意見、ご質問等ありませんか。
よろしいでしょうか。それでは原案のとおり決定いたしました。

【原案どおり決定】

(教育委員会承認)

小林教育長

続いて報告になります。

報告 第2号 なでしこ賞・撫子賞の表彰について 資料に基づきまして、松田学校教育課長より説明をお願いします。

(松田学校教育課長より資料に沿って説明)

小林教育長

報告が終わりました。ご意見、ご質問等ありませんか。

市川職務代理者

お願いですが、毎年、表彰式は市長さんから表彰していただいて、その後一緒に記念写真に納まったり、子どもたちに言葉がけをしていただいたりと大変ほのぼのとした場面があると思うのですが、市長さんもお忙しいと思いますが、是非また今年もそんな場面を作っていただければ思っています。よろしく願いいたします。

小林教育長

他にはないでしょうか。

よろしいでしょうか。

それでは確認いたしました。

【原案どおり確認】

(教育委員会確認)

小林教育長

そのほか何かありますでしょうか。

末木委員

お聞きしたいのですが、先ほど市川職務代理者の挨拶の中にもありましたが、昨今、教育現場で児童虐待とかパワハラなどの問題が出てきている中で、教員等では対応できないような、例えば児童生徒の心理面の対応だとソーシャルカウンセラーであったり、児童生徒の福祉だとスクールソーシャルワーカー等を設置して相談を受けたりしていますが、私が最近新聞等で見たもので、児童虐待問題等の保護者との法的な問題について、東京や大阪の一部ではスクールロイヤーとい

う法律問題の専門家を配置して、現場で教員の方では判断の難しい案件については、スクールロイヤーに相談してアドバイスをいただき、対応するというようなことが行われているようです。

最近、そういった子どもや保護者との法的な問題が増えてきていますので、現場だけで判断が困難なもの、また教育委員会へ相談しても的確な判断が困難なものなどは、法律の専門家にアドバイスをいただいて、的確な判断をするということが後々よい結果に結び付くと思います。市役所にも顧問弁護士さんがいらっしゃると思いますが、現状で甲府市教育委員会が現場の法的な問題に対してどのような対応を行っているかお聞きしたい。

小林教育長

松田学校教育課長お願いします。

松田学校教育課長

お話にありましたスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等につきまして、スクールカウンセラーは、県教育委員会の方から市内20数校に配置されておりますが、配置のない小学校もありますので、その部分をカバーするために甲府市独自にスクールカウンセラーを委嘱して、県からの派遣がない学校には、要請によってスクールカウンセラーが勤務するような体制をとっております。またスクールソーシャルワーカーにつきましても、市の方で学校教育課に1名配置し、さらに市の福祉の方にもワーカーがおりますので、連携をとる中で役割分担をしながら家庭支援を行っております。スクールロイヤーにつきましては、お話のとおり現状では市の顧問弁護士に相談しており、現実にもこれまでも各学校の校長等が学校教育課を通して、法的な判断が必要で専門家のアドバイスが欲しいという事例につきましては、市の顧問弁護士に相談を行い、助言を受け対応しているという現状でございます。

小林教育長

よろしいでしょうか。

末木委員

はい。

3 閉会

小林教育長

それではこれもちまして、2月定例教育委員会を閉会します。